

令和6年度 公共事業 事後評価

令和2年度完了

街路事業

路線名 都市計画道路
3・5・15号
上川橋線

箇所名 宮川茅野
茅野市

長野県 建設部



事業の概要

事業計画時の課題・背景及び事業経緯

- ◆ 当該路線は、JR中央線茅野駅の西側に位置し、茅野駅と国道20号を結ぶ主要幹線街路である。また、国道20号と茅野駅前の中心市街地を結ぶアクセス道路となっており、終点部は茅野駅西口土地区画整理事業と接している。
- ◆ 当該区間は、現況幅員6.0～8.0mであり、歩道も未整備のため大変危険な状況となっていた。
- ◆ 国道20号坂室バイパスの整備・開通に併せて事業推進を地域から強く要望されていた。
- ◆ 当初は、全面通行止めにして国道20号等への迂回をお願いしていたが、地元要望により、仮橋での現況交通確保が必要となったため、都市計画事業認可変更（H27）を行い、事業期間を1ヶ年延長していた。

【事業実施前の状況】



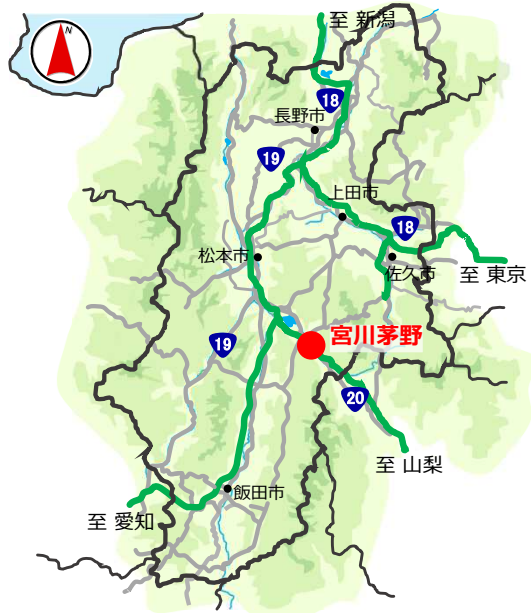
通学時の交通状況
(茅野市立宮川小学校)

事業目的

茅野市中心市街地活性化基本計画に基づき、茅野駅周辺市街地の活性化を図るとともに、安全な歩行空間の確保するため、歩道整備及び橋梁整備を行い、都市機能の再生を目的とする。

事業の概要

【位置図】



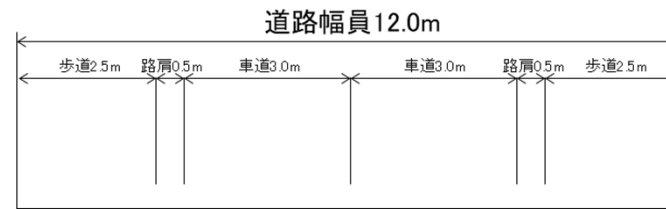
【平面図】



【全体計画】

- 延長 : 310m
- 幅員 : (全幅) 12.0m
(車道) 6.0m
- 事業期間 : 平成24年度～令和2年度
- 全体事業費 : 34億8,000万円

【標準横断図】



【事業完了後の道路状況】



事業概要の変更経緯

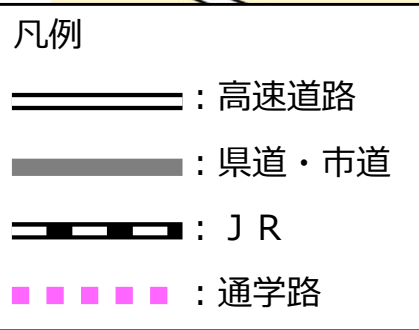
事業概要の変更経緯

	当初計画 (H24年新規評価)		最終実績 (R2年完了時)
事業期間	H24～H31年度		H24～R2年度
総事業費	16億円		34億8,000万円
費用対効果	B/C = 1.5		B/C = 1.0
事業概要	道路築造工 延長 310m 幅員 (全幅) 12.0m (車道) 6.0m		道路築造工 延長 310m 幅員 (全幅) 12.0m (車道) 6.0m

変更理由 (事業期間の延長、総事業費の増)

- ◆ 仮橋設置が追加で必要となり、その調整等に1ヶ年の不測の日数を要し、事業期間が延長となった。
(平成28年3月24日付け、都市計画事業変更認可)
- ◆ 仮橋による仮設道路の整備及び、物件調査等で用地補償費を精査したことにより、事業費が増となった。

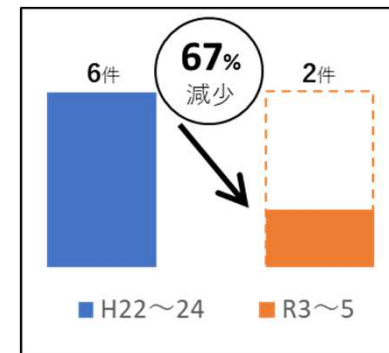
①-1 事業効果の発現状況（直接効果）



安全性向上

- 車道及び歩道幅員の拡幅により、通学路安全性及び円滑な交通を確保
- 整備後の交通事故件数が減少
- 通勤、通学時の交通渋滞の緩和

【交通事故発生数】



出典：茅野警察署聞き取り

【事業実施前の状況】



【事業実施後の状況】



①－2 事業効果の発現状況（間接的効果①）

御柱祭のにぎわい創出

- 7年に一度、開催される御柱祭の「山出し」および「木落とし」の見学スポットとなっており、にぎわい創出に寄与している。（H28御柱祭上社の観衆：77.3万人、R4御柱祭上社の観衆：3.6万人※）

※新型コロナウイルスの影響による減少



① - 2 事業効果の発現状況 (間接的効果②)

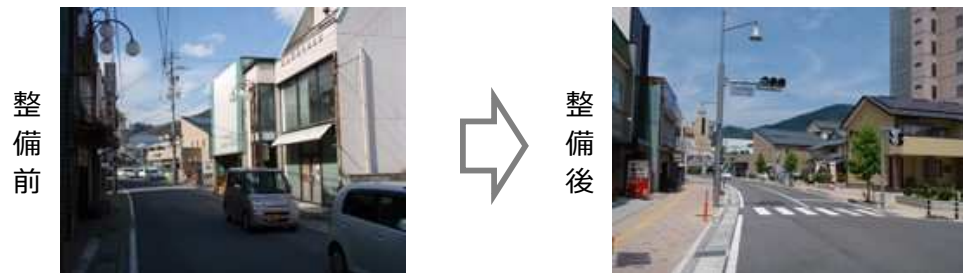
関連事業と一体となったまちづくり

- 起終点部で実施した土地区画整理事業と一体となり、良好なまちなみを形成することで、にぎわいのあるまちの再生と暮らしやすいまちづくりに寄与している。



茅野駅前地区地区計画

都市再生土地区画整理事業により都市基盤施設を充実するとともに店舗および住宅を再配置し、市の玄関口にふさわしい良好なまちなみを有する、にぎわいのある市街地を形成を目指す。



市の玄関口と歴史を感じさせるまちなみを結ぶ街路整備として、無電柱化やモダンなデザインの親柱・街路灯設置により、良好な都市景観が形成されている。



宮川茅野地区地区計画

地域の歴史を踏まえた沿線の良好なまちなみを形成するとともに、地区の快適性や安全性の向上を図り、日常的なにぎわいのある調和のとれたまちづくりを目指す。



② 自然環境・生活環境への影響

- 歩道をインターロッキング舗装として、良好な都市環境の形成に努めるとともに、点字ブロックを整備し目の不自由な方への配慮を行っている。
- 無電柱化により景観が向上するとともに、災害時の緊急車両等の通行も確保されたことで生活環境が大幅に改善された。

生活環境への影響
(着手前)



生活環境への影響
(完成後)



③ 施設の維持管理状況

- 道路パトロールを毎週1回行っており、良好な状態の確保に努めている
- 橋梁定期点検により状態把握、健全度の診断等を適切に行っている
- 地元区民の皆様が年に2～3回、道路・河川（上川）のゴミ拾い、清掃等を行っている（アダプトプログラム）
- 年1回、交通安全環境施設協会が主体となり、地域の業者による道路標識・反射鏡の清掃ボランティアが行われている



地元区による道路のゴミ拾い

④ 地域住民等の評価

- ◆ 地域の生活道路であり、物流などにおいても主要な幹線道路であるため交通量が多いが、整備前は道路幅員が狭く円滑な交通に支障をきたしていたため、慢性的な渋滞が発生していた。また、宮川小学校への通学路であるが、歩道が狭く児童にとって危険な状態だった。この道路改良により円滑な交通が確保されると共に児童も安全に通学できるようになった。引き続き、通学区になっている国道20号までの間と国道20号から諏訪大社までの区間についても早期の整備により円滑で安全な交通の確保をお願いしたい。
(茅野宮川区役員)
- ◆ この整備により茅野駅方面から中央公民館まで、誰でも安全で快適に移動できるようになったことにより、防災訓練もスムーズに行えるようになった。
(茅野区役員)
- ◆ 橋のたもとにポケットパークが整備され、歩道も照明が設置され明るくなったことにより、ウォーキングやジョキングを楽しむ人が見られるようになった。
(茅野区住民)
- ◆ 歩道が広くなったので、生徒は茅野駅から安心して景色を眺めながら、快適に通学出来るようになった。
(茅野高校関係者)
- ◆ 道路が拡幅され、交差点に付加車線が設置されたことにより、バスによる運行が大変便利になった。
(観光バス関係者)
- ◆ 朝夕の通勤通学時間帯の混雑が緩和されたことにより、緊急車両の到着時間短縮につながった。
(諏訪広域消防署西部分署関係者)

事後評価結果

総合評価

評価項目	評価	評点	評価指標
① 事業効果の発現状況（直接的効果、間接的効果）	A	70点	A：目的を超えた達成【70点】 B：目的を達成【55点】 C：目的を概ね達成【40点】
②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	A	10点	A：計画時よりも環境がよくなった【10点】 B：大きな影響なし【5点】 C：影響が大きい【0点】
③ 施設の維持管理状況	A	10点	A：地域の人たちも参加し適正に実施【10点】 B：施設管理者が適切に実施【5点】 C：やや不十分【0点】 D：不適切【0点】
④ 地域住民等の評価	A	10点	A：評価が高い【10点】 B：中程度の評価【5点】 C：評価が低い【0点】
総合評価	A	100点	A：75点以上 C：49点以下 B：74点～50点

改善措置の必要性

特になし

今後の取組及び同種事業への活用と課題

- 地元要望及び周辺道路の交通への影響を考慮し、仮橋を設置することとなった。新規事業計画時には、周辺の交通状況や地元の意見を確認し、施工方法及び交通規制を検討する必要がある。

事後評価結果

【建設部公共事業評価委員会の意見】

街路整備により、交通事故発生件数が減少し、通学路の安全性及び円滑な交通が確保されていることから、事業の目的を達成しており、地元住民からの評価も高いことから総合評価 A が妥当と判断する。

【長野県公共事業評価委員会の意見】

建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。

県の評価案	A	評価監視委員会意見	妥当	評価の決定	A
-------	---	-----------	----	-------	---